

経 済 部 観 光 課

1 観光振興対策

(1) 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光と特産品の振興を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

ア 観光客誘致宣伝事業

(ア) 米子市皆生温泉観光宣伝隊の派遣

期日 10月2日・3日

派遣先及び内容 広島県、愛媛県の信用金庫等を訪問し、皆生温泉への送客を依頼した。

(イ) 山陰デスティネーションキャンペーン事業

「ほっと一息 あなたの旅 山陰から」をキャッチフレーズに、観光施設、観光関連団体等と連携して事業を実施した。

・説明会の開催 7月10日 市役所旧庁舎会議室

・JR米子駅にて歓迎イベントの実施 10月6日、11月24日

・誘客キャラバン参加 8月18日・19日 JR京都駅前

9月 8日・9日 JR大阪駅大阪ステーションシティ

(ウ) 国際まんが博・第13回国際マンガサミット鳥取大会支援事業

・ネギ来まつり開催 11月 3日・4日

・米子MYもん市開催 11月10日・11日

・だらずメニュー参加

(エ) 関西地区特別宣伝事業

日本中央競馬会阪神競馬場内において、米子ステーキ開催にあわせて中海ふるさと物産振興会と共同で観光宣伝と物産コーナーを開設

期日 6月23日・24日

イ 情報発信事業

(ア) 報道機関等を利用した観光宣伝

a テレビ・ラジオ番組に出演し、皆生温泉や各種イベント、特産品等の紹介を行った。

b 雑誌・新聞の取材に対応した。

(イ) ホームページによる情報発信

観光協会のホームページ「米子観光ナビ」において、「皆生温泉」、「とっておき旬情報」、「観光モデルコース」等で米子市のPRを図ったほか、英語、韓国語、中国語で案内を行った。

ウ 各種イベントの開催

観光客誘致と地域活性化を図るため、イベントの実施又は開催協力を行った。

(ア) 米子桜まつりを開催 期間 4月 6日～ 4月15日

加茂川・中海「さくら船」の運航

(イ) 再生神話の郷マラニックの実施 期日 6月 3日

(ウ) 皆生温泉海水浴場を開設 期間 7月 7日～ 8月28日

(エ) 全日本トライアスロン皆生大会 期日 7月15日

(オ) 皆生温泉サマーナガフェスティバル 期日 8月18日

(カ) 第2回美水の郷ロマンウォーク 期日 9月22日

(キ) 市民大茶会 期日 10月21日

エ 観光商品造成事業

(ア) 神話・美水の郷メニューの企画、実施

鳥取県西部・大山山麓は、歴史や豊かな大自然がもたらす恵みが豊富であり、この地を新たに「美水の郷」と名付け、「水」「食材」「温泉」「神話」といった魅力を発掘・発信するために、特産品開発事業、電動レンタサイクル事業、マンガ・アニメの活用による新たな情報発信事業を実施した。

(イ) 大人達の社会見学コースの充実及び観光商品への取り組み

見学場所 航空自衛隊美保基地、王子製紙米子工場、米子市水道局、サントリー天然水(株)
奥大山ブナの森工場、丸京製菓

旅行者企画ツアーの誘致 10件

見学施設の手配業務 手配人数 260人

オ 地域活性化対策事業

(ア) 米子下町観光ガイド

ガイド案内件数 129件 1,018人

(イ) 首都圏観光大使

近藤裕氏より「かっぱのコンちゃん一家」像の寄贈・設置

カ 指導育成・研修事業

優良従業員の表彰

期日 5月17日 観光功労者表彰 2名

優良従業員表彰 20年勤続 14人 10年勤続 20人

キ 中海・宍道湖観光協会会議に関する事業（平成24年度は事務局を担当）

（米子・境港・安来・松江・出雲）

(ア) 案内所にてDBSクルーズの乗船券の申し込み受付業務

(イ) JR西日本米子支社と共同で山陰デスティネーションキャンペーンと連携した観光誘客並びに周遊を促す取り組み「山陰デスティネーションキャンペーンスタンプラリー」の実施及びパンフレット作成（7,000部）

期間 10月1日～12月31日 スタンプラリー応募総数2,578通

(ウ) iPadを利用して外国人の交通案内、各種情報案内のカスタマイズ

(エ) 圏域内銀聯カード使用店舗の情報発信

ク 首都圏対策事業

山陰米子がいなまいもんフェアーの開催

米子周辺の食材、特産品を使用した米子まいもん市を開催

期間 11月15日～16日 会場 東京都新宿区 日本橋プラザイベントスペース

(2) 観光案内業務

米子駅構内に米子市観光案内所を設置し、観光案内業務を行った。

◇年間利用状況

宿泊案内	観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
719件	4,791件	8,383件	2,292件	5,982件	22,347件

(3) コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、(財)とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

件数	参加者数	延宿泊者数	交付額 (米子市負担額)
33件	19,256人	20,292人	15,673,000円 (7,836,500円)

(4) 日本観光協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

(5) 特産品、観光土産品振興対策

特産品パンフレット「米子ええもん噺」の作製及び配布に協力し特産品の販路拡大を図った。

(6) 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

(7) 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等と遭難防止活動に協力した。

(8) 温泉地にぎわい創出事業

ア 観光宣伝事業の推進

米子市観光協会等と連携し、首都圏、中京、京阪神、山陽方面での観光宣伝事業を行った。

また、湯めぐりチラシやイベント特集チラシなど宣伝ツールの作成、リニューアルしたホームページを活用し、情報発信に努めた。

イ マンガ・アニメによるイメージ戦略の構築事業

平成24年度に鳥取県で開催された「国際まんが博」に関連し、マンガ・アニメを素材にしたイメージ戦略を推進した。

・イメージキャラクターの創造

・圏域の神話を題材としたブラックライトアート「NAGISA PROMNADE (ナギサプロムナード)」の実施による宣伝活動

ウ インバウンド対策事業の推進

山陰におけるインバウンドのゲートウェイとしての立地を生かし、外国人観光客の誘客を図った。

なお、本事業は年度途中で皆生温泉旅館組合が申請したJTB旅ホ連インバウンド支援補助金の交付決定を受けたことにより、双方の事業を併用しながら事業展開を図った。

(ア) 外国語ツールの作製

皆生温泉のオリジナル旅行商品「スリミングステイ ～3%美しくなる旅～」で作製したパンフレット(美旅)の内容を見直し、食と温泉、滞在ツアーを中心に紹介した皆生温泉のPRパンフレットを作製。日本語、英語、韓国語版を作製した。

(イ) 海外現地セールスの実施

鳥取県西部を中心に取り組むスポーツツーリズムの一環として、韓国でブームの登山やウォーキング、キャンプなど、多様なアウトドアを取り込んだ旅行商品造成の可能性を探るため、官民が共同で現地セールスを行った。

(ウ) ゴルフ旅行商品ファムツアーの実施

米子ソウル便を活用した韓国人観光客のゴルフツアーの可能性を探るため、鳥取県への送客を検討している韓国旅行社を招いた。

エ 街並み活性化事業の推進

皆生温泉の活性化策として、前年度に引き続きアドバイザーを招請して街づくりビジョンの浸透を図るとともに、既設の「皆生横丁きないや」「素鳳ふるさと館」、足湯施設等の活用を推進し、街歩きが楽しめる温泉街の創出に努めた。

本事業の成果として、新しい街歩きスポットとして観光センター内にギャラリーショップを開設した。

オ 県外観光客誘客推進事業

県外からの観光客誘客を進めるため、各種のイベントバス運行を支援した。

- ・カニバス皆生温泉号の運行
- ・まんが王国とっとり号の運行
- ・JR米子駅～皆生温泉間送迎バスの運行

カ にぎわいイベントの実施

夏場の誘客を一層強化するため、子ども向けイベント広場と地域連携イベントを開催した。また、3月には素鳳ふるさと館を盛り上げるため、ひな祭イベントを実施した。

(ア) 皆生温泉ちびっこ広場の開催

前年度までの「鬼太郎ちびっこ広場」を継承し、夏休み期間中、子ども向けイベントを開催して夏場のファミリー層の集客を図った。

(イ) 皆生温泉サマーナガフェスティバルの開催

皆生温泉の賑わい創出の一環として、前年実施した皆生温泉サマーフェスティバルを続けて開催。名称も「国際まんが博」にちなんで「皆生温泉サマーナガフェスティバル」と“まんが”に掛けたネーミングとした。

(ウ) ひな祭イベントの開催

皆生温泉素鳳ふるさと館で開催の「ひな祭」展示にあわせて、「ひな祭イベント」を開催。皆生温泉おかみ会によるチラシ寿司と甘酒の振る舞い、上方演芸の上演等のイベントで地域住民、観光客をもてなした。

(9) 広域観光の推進

ア 国立公園「大山」を望む7の市町村で「大山山麓観光推進協議会」を設置し、広域的な観光振興策を推進するため、大山山麓エリアにおける優良な周遊滞在型観光地の形成を図ることを目的に、官民連携して各種事業を実施した。

構成市町村 米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町

- 実施事業
- ・「大山王国」ホームページの維持管理
 - ・大山・中海エコツーリズム協議会に参画した。
 - ・二次交通バスツアーの実施

イ 「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会」

中海・宍道湖・大山圏域の観光振興を推進するため、鳥取県と島根県の行政、経済団体、観光協会及びNPO等が連携、協働して圏域全体の事業を実施した。

平成17年から、圏域の行政、経済団体、観光協会、NPO法人及び民間企業などが県境を越えた連携の必要性を認識して専門分野における委員会形式で実施してきたが、より効率的に運営するため平成

23年度から事業形態を委員会の運営からグループワーキングによる運営に変更し、それぞれの会員の意見が反映される組織に移行した。

(f) 圏域観光MAPの作成・配付、既存の情報の集約・統一化のための圏域観光ポータルサイトの運営

・24年4月「山陰遊悠絵図」発行

(i) 着地型旅行商品パンフレット「またタビ山陰」を活用した販促活動の実施

(u) 観光ルートの設定及び体験型観光メニューの発掘

ウ 「山陰文化観光圏」の認定

国において、観光立国の実現に向けて、複数の観光地が連携して2泊3日以上滞り型観光を目指す「観光圏」の形成を促進することになり、大田～隠岐～日野～倉吉にわたるエリアで観光圏に取り組み、関係する区市町村及び団体で「山陰文化観光圏協議会」を組織し、観光圏整備実施計画が認定を受けた。

事業実施期間 平成25年3月31日まで

エ 大山・中海圏域のエコツーリズム、スポーツツーリズムの推進

当地域の持ち味を生かした「新たな観光魅力づくり」と、環境保全と経済活動を両立させた「持続可能な観光地づくり」を実現するため、平成19年から取り組んでいる「エコツーリズム」について、皆生温泉と大山寺にツアーデスクを設置し、「ブナの森の古道散策」や「皆生海岸海上散策カヤック」等のツアー案内や受付を行ったほか、全日本トライアスロン皆生大会や皆生・大山SEA TO SUMMITなどのスポーツツーリズムに取り組み、誘客を図った。

(10) 第39回米子がいな祭の開催

「がいな太鼓」、「がいな万灯」、「やんちゃYOSAKOI」、大花火大会等のイベントを開催し、地域振興を推進するとともに、観光イベントとして市内外からの誘客を図った。

期日 8月4日・5日 人出 20万2,000人

(11) 皆生・大山SEA TO SUMMITの開催

シーカヤック、自転車、登山の3種目で海岸から山頂を目指す自然体感型イベントを、モンベル社、鳥取県、米子市、大山町、日吉津村によって、皆生海岸～大山山頂をフィールドにして第4回大会を開催した。

期日 5月26日・27日 参加者 102組 287人

(12) 緊急雇用対策を活用した観光振興

ア 誘客促進PR業務

第13回国際マンガサミット鳥取大会に合わせた観光誘客やPR、イベント等を実施し、マンガやアニメを活用して観光協会のホームページを再構築した。また、各種ツールを利用して、宿泊増加につながる企画を計画し、新たな視点からのPRを行った。

イ 皆生温泉滞留拠点整備業務

「皆生横丁きないや」を皆生温泉街歩きの拠点施設とし、素鳳ふるさと館でイベントを開催するとともに「手しごとギャラリーk a i k e」を新たに開設した。また、街歩きマップ等を作製し温泉街の散策を誘引して活性化を図った。

ウ 皆生温泉新誘客戦略構築業務

高速道路による立地的優位性をPRし、新たに中京、九州地区を取り込んだ広域的な誘客活動を実施した。

エ エコツーリズム情報発信業務

国内外に向けた情報発信に取り組むため、インターネット情報発信・新規エコツーラー企画・国際的

旅行展示会出展等を実施した。

オ 美水の郷淀江「力」発掘発信業務

淀江地区の自然・歴史・文化・温泉・食等を活用した商品開発やまんが紙芝居作成・公演、電動自転車で歴史・文化をめぐるレンタサイクル事業を実施し、地域のPR及び情報発信を行った。

カ 「まんが王国とっとり」建国推進機運醸成事業

「まんが王国とっとり」の建国推進と「国際マンガサミット鳥取大会」等に合わせた広報・PRの情報を収集及び発信し、機運醸成に向けたマンガ教室・コンテスト等を開催した。

(13) 米子ソウル国際定期便の利用促進

「国際定期航路利用促進委員会」を通じ、同路線の利用促進活動を行った。

(14) まんが王国とっとり建国推進事業

「まんが王国とっとり」建国の取り組みを推進し、「国際まんが博」の各種イベントや「国際マンガサミット鳥取大会」の機運を盛り上げるため、プレイイベント「とっとりアニカルまつり」の開催を支援したほか、マンガ・アニメなどを活用して地域振興に取り組む団体、事業者等と相互に連携し、サミットを含め、本市で開催されるプレイイベントを集約させたイベントウィーク「ヨナゴワンダー！」を設定して、本市への新たな誘客と賑わい創出を図った。また、サミット期間中はサミット参加者に本市の魅力を体感してもらうエクスカージョンを行った。

とっとりアニカルまつり、ヨナゴワンダー！、国際マンガサミット鳥取大会関連

総来場者数 299,306人

2 観光資源の開発

(1) 観光施設の整備及び管理

ア 米子市観光センターの管理運営業務

(ア) 山陰観光の拠点として、昭和58年4月15日から利用開始。平成18年度から指定管理者制度を導入し、引き続き皆生温泉旅館組合に管理運営業務を委託している。皆生温泉の観光案内、旅館のあつ旋、各種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

[年間利用状況(テナント、広告看板、バス停利用を除く)]

区分	観光案内	多目的ホール	会議室	料理研修室	和室	第1展示ホール	第2展示ホール	第3展示ホール	部屋利用合計
件数	16,075件	486件	803件	15件	67件	0件	365件	365件	2,101件
人員	43,390人	11,680人	7,350人	180人	860人	0人	6,120人	2,870人	29,060人

(イ) 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合

指定管理委託料 2,510,000円

庇改修工事 4,168,500円

イ 米子コンベンションセンター管理運営業務

(ア) 米子コンベンションセンター(米子国際会議場を含む)を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。また、今年度は米子国際会議場の音響設備デジタル対応機器を導入した。

(イ) 米子国際会議場指定管理委託先 (財)とっとりコンベンションビューロー
 指定管理委託料 83,199,973円
 国際会議場音響デジタル化工事 2,005,500円

[米子国際会議場利用状況]

催し 物件数	集 会			展 示 会	音楽・芸能	その他	計
	大 会 式 典	講演会 説明会	会 議	展示会 見本市			
	23	45	0	11	3	24	106

利用日数 201日 稼働率 61.3%

(2) 金融対策

ア 米子市観光開発促進資金

市内において観光開発促進事業を行おうとする法人が必要とする資金の確保に協力し、本市の観光振興を図ることを目的として、県及び金融機関の協力を得て融資した。

・融資実績

区 分	融資件数	融資額	米子市預託額
継 続 分	1件	86,355,000円	13,928,000円